

もっとみらいコンソーシアム総会・シンポジウムを開催しました



コンソーシアム総会の様子



兒玉直樹専攻長の挨拶



長谷川健会長の挨拶



安藤章二氏による基調講演



シンポジウム後の記念撮影



懇親会の様子

2015年5月13日(水)に、山形大学工学部100周年記念会館において、第6回目となる「もっとみらいコンソーシアム総会・シンポジウム」が開催されました。もっとみらいコンソーシアムは、山形県内企業に就職を希望する留学生を支援する産官学金によって構成される団体です。総会の後に開催された「国際人材育成シンポジウム」には、県内外から約50名の皆様が参加しました。

シンポジウムでは、兒玉直樹ものづくり技術経営学専攻長、長谷川健もっとみらいコンソーシアム会長(フジクラ電装株式会社特別顧問)による開会の挨拶の後、理工学研究科の野田博之准教授が、MOT専攻とうほくMITRAIコースの教育内容について説明を行い、次いで工学部国際交流センターの仁科浩美准教授が、「日本人学生のグローバル化教育と地域貢献型の留学生教育」と題して講演を行いました。引き続き、明治大学・国際教育事務長の安藤章二氏が、「グローバル適応型の大学形成と地域産業・社会の活性化」と題して基調講演を行いました。アジア太平洋立命館大学や明治大学の事例を基にして、大学の国際化と地域企業・地域社会の活性化についてお話を頂きました。また在籍する留学生が山形大学における学習内容と大学院修了後の希望などについて発表を行いました。シンポジウム後は、参加した方々と学生・教職員等が参加する形で懇親会が開催されました。